犬川第二排水区他　大規模雨水処理施設整備事業計画（長岡京市）

（様式１）

項　　目	内　容　・　施　策　等
選 定 理 由	犬川第二排水区は、古くから下水道整備を進めてきた地区である。既存のポンプ場は昭和48年に供用開始してから令和6年現在で51年が経過し、老朽化が著しく進行しており、豪雨時における機能不全や機能停止などの浸水リスクが懸念されている。 平成29年にあった26㎜/hrの集中豪雨時には、ポンプ場の機能が停止し、床下4件の浸水被害があり、その損害を市が補償している。 今回、当該区域にて10年確率で浸水シミュレーションを実施した結果、浸水想定面積は3.71ha、床上浸水戸数61件、床下浸水戸数211件の浸水被害が想定されており、適切な雨水排水機能の確保を図り、浸水被害を防止するため、ポンプ場及び貯留施設の新設を早急に実施する必要がある。 また、長岡京市の浸水対策の一環として、京都府事業の「いろは呑龍トンネル事業」に伴う関連工事も合わせて行うものである。
整 備 目 標	①　本計画における対象降雨 ・本計画における対象降雨：61.1㎜/hr　（10 年確率降雨） ・目標とする理由：10 年確率降雨に整合した計画とするため。 ・ハード整備による整備水準の目標：61.1㎜/hr　（10 年確率降雨） ②　　目標設定 ⅰ）生命の保護の観点　　：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設の浸水を防止する。（※当該区域内に該当施設無し） ⅱ）都市機能の確保の観点：交通の支障となる道路冠水を軽減する。 ⅲ）個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水範囲を縮小する。 ⅳ）その他　　：特になし ③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について ⅰ）ハード対策 施設整備により 61.1㎜/h（10 年確率降雨）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ⅱ）ソフト対策及び自助 雨水出水浸水想定区域の指定、ハザードマップの作成・公表などの情報提供や排水路の計画的な清掃と共に、各戸での雨水貯留タンクの設置及び総合防災訓練等による防災意識の向上を図り、被害をできるだけ小さくする。

項　　目	内　容　・　施　策　等			
内水ハザードマップ策定状況	・有　　（平成　　年　月　日策定済み） ・（策定予定）（令和７年３月末策定予定）			
主な事業内　　容	公助	ハード対策	下水道管理者	・雨水貯留施設の整備 雨水貯留施設：1,169 ㎥ ・雨水ポンプ場の築造 排水能力 1.1 ㎥/s×2 台 ・流域下水道接続施設の整備 2 箇所 ・浸水対策管渠 L=約 290m
		ソフト対策	下水道管理者	・雨水出水浸水想定区域図の作成・公表 ・排水路清掃
			下水道管理者以外	・総合防災訓練（長岡京市防災・安全推進室）
	自助	ハード対策		・雨水貯留タンクの設置
		ソフト対策		・自主防災組織、住民による防災訓練 （地域防災計画） ・側溝清掃

名　　称	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
犬川第２排水区	520.0	383.1					903.1
いろは呑龍トンネル南幹線接続	54.4		681.8				736.2
馬ノ池川排水区	40.9	85.5	36.4	557.3	93.6	150.9	964.6
計	615.3	468.6	718.2	557.3	93.6	150.9	2,603.9

備考）整備済は含まない

項　　目	内　容　・　施　策　等
整　備　効　果	＜事業評価の内容＞ 浸水被害の軽減便益：15,120.4 百万円が削減される。 （事業開始～整備完了後 50 年） Ｂ/Ｃ：2.68　　経済的内部収益率：14% 都市浸水対策達成率：50%　→　100% （※当該区域：必要ポンプ能力で評価） ・設置から 51 年が経過している犬川第二排水区のポンプ施設について、雨水排水機能を適切に確保する。（2.2 ㎥/s、10 年確率対応） ・放流先河川の放流制限があることから、10 年確率降雨に対応するため雨水貯留施設を設置し、雨水排水機能を適切に確保する。（1,169 ㎥） ・京都府事業の「いろは呑龍トンネル事業」に伴う長岡京市施工の関連工事により、浸水の軽減を図ることができる。
放流先河川との調整状況	京都府河川課、京都府乙訓土木事務所 放流先河川（犬川）への放流規制 2.2 ㎥/s 事業認可（令和元年度策定）
そ　の　他	特になし。

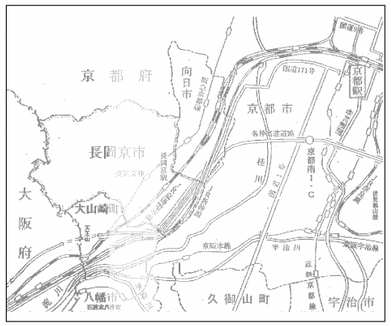
長岡京市 大規模雨水処理施設整備事業計画

計　画　図

京都府桂川右岸流域関連
長岡京市公共下水道事業

全体計画面積　1,143.30 ha
事業計画面積　562.86 ha

長岡京市　近郊図



（京都市西京区）

（向日市）

（京都市伏見区）

（大阪府三島郡島本町）

（乙訓郡大山崎町）

大規模雨水処理施設整備事業

P	ポンプ場
R	貯留施設
●	流域接続工事
→	浸水対策管渠

凡　例

	行政区域界及び都市計画区域界
	市街化区域界
	全体計画区域界
	排水区域界
	雨水流入区域界
	下水道法事業計画区域
接続点	流域下水道幹線
	流域下水道流入区域
	都市計画法事業認可区域
	下水の排除が可能な区域
	幹線管渠
	吐口番号
● C−□	水質環境基準点

1：10，000

井ノ内第3排水区
和井川排水区
風呂川排水区
風呂川第4号雨水幹線
風呂川第3号雨水幹線
今里雨水貯留幹線
向日市経由流域下水道南幹線
今里雨水ポンプ
風呂川第1号雨水幹線
風呂川第2号雨水幹線
犬川第4号雨水幹線
小畑川第2排水区
馬場川第1雨水幹線
馬場川排水区
犬川第1排水区
犬川第2号雨水幹線
犬川第1号雨水幹線
犬川第3号雨水幹線
金ヶ原第1排水区
奥海印寺第1排水区
奥海印寺第2排水区
奥海印寺第3排水区
小畑川第1排水区
麦生川排水区
犬川第2排水区
神足雨水ポンプ場
神足雨水貯留施設
アメニティ下水道事業
犬川第二排水区浸水対策事業
犬川第3排水区
犬川第6号雨水幹線
勝竜寺川排水区
勝竜寺川第2号雨水幹線
犬川第4排水区
いろは呑龍トンネル南幹線接続工事（２箇所）
金ヶ原第2排水区
金ヶ原第3排水区
馬ノ池川第1号雨水幹線
馬ノ池川排水区
金ヶ原第4排水区
下植野排水区
C−□ 小畑川下流
馬ノ池川排水区浸水対策事業